



第18回岩手大学 COEフォーラム

2004年度から採択された岩手大学21世紀COEプログラム「熱 - 生命システム関連学拠点創成」では、月1回のペースで、関連分野において国内外で活発に研究をされている方をお招きして、セミナーを開催することにしました。今回は、「ゲノム」・「モデル生物」・「イネ」・「遺伝子単離」・「遺伝学」というキーワードでお話しいただきます。セミナー終了後、講師を囲んで懇談する会を設けます。

お忙しいとは思いますが、万障繰り合わせの上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

第18回担当・農学部附属寒冷バイオシステム研究センター
上村 松生 (uemura@iwate-u.ac.jp)

日時：2005年9月30日（金）16:00～17:30
場所：岩手大学農学部2番講義室

寺内 良平 氏

（財）岩手生物工学研究所・プロジェクトリーダー
（岩手大学21世紀COEプログラム・事業担当者）

「Power of TILLING」- DNA 変異の迅速な解析 Power of TILLING - rapid detection of DNA polymorphism

モデル生物の全ゲノム配列が次々と解読されている。特定の表現型を決めている遺伝子を見つける作業（forward genetics）や、特定の遺伝子がどのような表現型を支配しているかを知る作業（reverse genetics）は、ゲノム情報を利用することによって迅速化してきた。その中で *Targeting Induced Local Lesions in Genomes*（TILLING: Till et al. 2003 Genome Res 13:524）法と EcoTILLING法（Comai et al. 2004 Plant J 37:778）は、こうした作業をさらに加速する技術である。今回のフォーラムでは、（1）TILLING法の原理、（2）EcoTILLING法を利用したイネDNA変異の解析例、（3）EcoTILLING法を利用したイネ突然変異体原因遺伝子の同定例について紹介し、イネ低温発芽性、耐冷性遺伝子単離への展望を述べる。